

てく Take ちゅう Walking 34

『お仕事拝見！』

今回は、地下鉄札幌駅から徒歩4分のところにある、就労継続支援B型ハートシップ札幌中央にお邪魔してお話を伺いました。

ハートシップ札幌中央は、平成25年7月に開設され、今年で5年目を迎える事業所です。

メインの利用者は精神障がいの方になっていますが、知的・身体の方も通所しており、全ての障がいに対応できる体制が整えられています。

現在25〜30名の方が登録し、社会への復帰を目標に通所しています。

作業の内容としては、外部から受注した住所録作成・地図とデータの紐付け・給与の計算などとなっているそうです。

ここからは、利用者の方ごとのように1日を過ごしているのかについて、順を追って見ていきたいと思っています。

1 午前中の作業

午前中は、住所録の作成作業を中心に行います。男女別に分かれた作業ブースには、各利用者が専用で使用するPCが配置されています。

また、音に敏感な利用者の方

めにヘッドホンが各自の席に用意されています。

乾燥による体調の悪化を防止するために加湿器が複数設置されています。

など、利用者に対するきめ細やかな配慮がなされている印象を受けました。

2 昼食〜午後の作業

昼休みには、栄養バランスを考えた昼食が1食250円で提供されます。

昼食を食べてリフレッシュした後は、午後からの作業に移ります。

午後は、地図と外部データを紐付けする作業を中心に行っています。また、スポット的に給与計算の仕事を行うこともあるそうです。

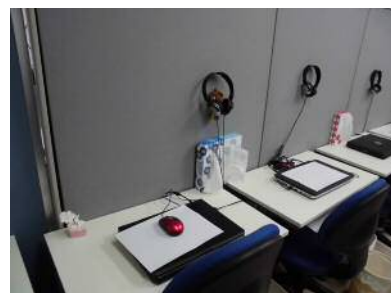
また、作業の合い間に、次項で記載する資格取得のための勉強を行う利用者もいるとのことでした。

3 資格の取得

ハートシップでは、資格の取得を全面的にバックアップしています。

資格試験受験のための費用負担や、普段慣れ親しんだ環境で受験ができるように、事業所内を受験会場として登録するなど、試験合格のために様々なサポートを行っているそうです。

試験に合格することで大きな自信を得られることに加え、就労にも有利になることから、資格取得には特に重点を置いているとのことでした。



利用者ごとの専用ノートPC。
必要な方のためにヘッドホンも用意されています。

4 レクリエーション

ハートシップでは、月に1回レクリエーションを行い、利用者相互の交流を深めています。

主に食事会が多いとのことですが、今月はボーリングも行うとのこと。利用者は月に1度のイベントを楽しみにしているとのことでした。

最後に、事業所の特色について伺いました。

「精神障がいの方が多いため、スタッフが毎日状況を確認し、その日の体調に合わせて無理なく作業を行えるようにスケジュールを組むようにしています。

月1回のレクリエーションについては、様々な障がいの方に楽しんでいただけるように配慮しています。

今月行う予定のボーリングについても、車椅子の利用者にも対応可能な会場を使用しています。

また、ワード・エクセル検定2級など、難易度の高い検定の合格率にも自信がありますので、興味のある方は是非ご連絡ください。資格取得・社会復帰のお手伝いをさせていただきます。」

〈問い合わせ先〉060・0034

札幌市中央区北4条東2丁目7番地1
シャルム北4条1階

就労継続支援B型 ハートシップ札幌中央

電話 011・213・1725

FAX 011・213・1726



風邪予防のためのマスクが無償で提供されるなど、体調管理にも気を配っています。